

# 日本の最果て・知床



羅臼町 町政だより

発行日 ◆平成29年3月27日

発行 ◆羅臼町役場 産業課 (87-2126)

知床羅臼町観光協会 ◆佐藤 紳司 中村 絵美 阪田 裕子

知床財団 ◆上村 文望 (編集)

羅臼町の地域おこし協力隊に着任し、早くも3年目の春を迎える事となりました。隊員の活動内容はそれぞれで異なりますが、いずれの活動も町の皆様のご厚意とご協力によって支えられてきました。感謝の意をこめて、各隊員の近状を報告いたします。

## 佐藤紳司 (知床羅臼町観光協会・ギャラリーミグラーダ勤務)

### 2017年冬 道東地域でのエコツーリズムの状況と課題

#### ①地域の自然財産を生かすために

羅臼町を含む道東地域は、大型の野生動物が人の生活のそばで容易に見られるという点で世界中で特別な地域になっています。海外から旅行者が少しずつ増加している状況ですが、宿泊、食事、外国語でのガイドなど、これらの訪問者を満足させられる状況には、まだまだ不十分な状況です。

特に、外国語で撮影のガイドをしたり、訪問前の適切な情報提供、日程提案を行う仕事が重要であり、この部分を充実させることが、羅臼町滞在に対する満足度が向上し、リピーターの増加と訪問者の増加への1つの大切な道となります。

#### ②道東を訪問する外国人の動向

羅臼町を含む道東を自然観察と撮影のために訪れる外国人の動向に、最近大きな変化が見られるようになりました。数年前から目立つようになった中国人の団体は、今年の冬には激減しました。

その一方で、ヨーロッパ諸国からの10名程度の団体が多く訪れるようになっています。アジアからのお客さんも少人数のグループが増加し、これまでの冬一辺倒から、夏秋のシーズンへと分散化する傾向にあります。こうしたグループの方たちの多くが、専門の自然ガイド、撮影ガイドではなく、単なる日本語の通訳を雇って旅行をしています。そのため、事前の情報収集や手配が不十分であったり、天候や動物の動向変化に対応しきれないという状況が多く発生しています。結果として、羅臼町の本来の魅力を十分に体験していただけない形になるだけでなく、羅臼町の国際的評価そのものを下げることになってしまい、これは羅臼町にとって大きな損失であると言えます。

#### ③外国語で撮影ガイド、観察ガイドができる旅行会社を羅臼町に設立すること

欧米からの小グループでの来訪客の増加とアジアのお客さんの成熟にしっかりと対応して、より深い自然体験、撮影体験を提供することが、羅臼町の観光の将来の為に不可欠な要素になって来ています。外国語で自然の解説を行い、撮影のガイドができる人材を羅臼で養成することが急務になっています。そういった国際的に通用するガイドを組織し、継続的に一定の収益を上げる組織を作りあげることが自分の仕事のひとつの目標になっています。

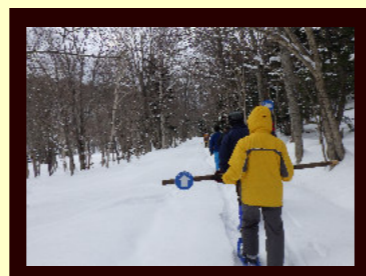
## 上村文望 (知床財団・ルサフィールドハウス & 羅臼ビジターセンター勤務)

### ◆ビジターセンター周辺で冬の散策コースを検討中です。

冬でも散策できるコースを、ビジターセンターの周辺に設けるために、知床財団と共同で検討中です。コースの設定と運用の実現を目標として関係者一同で頑張っています。

### ◆5月から開館、ルサフィールドハウス

昨年は、土砂災害による北浜～相泊の通行止めにより、多くの人の生活に影響がでました。今年は災害が起こらず、たくさんの方にルサフィールドハウスを利用して頂けることを願っています。



## 阪田裕子 (知床羅臼町観光協会・ギャラリーミグラーダ勤務)

### ①望郷の森

トレイルコース修繕、コースMAP完成。チャシ跡の草刈りも実施。町民の方々にもどんどん活用して欲しいです！

### ②ガラスの浮き球ランプ

作成継続中・・・

### ③駆除されたエゾシカの皮を活用したモノづくりや、体験メニューの提供を開始。



※②③はミグラーダで販売中。  
4月からビジターセンターでも販売開始予定です。

## 中村絵美 (知床羅臼町観光協会・ギャラリーミグラーダ勤務)

平成28年度も駆け抜けていきましたね。世界に誇れる羅臼の自然を地元側から発信すべく、春から夏にかけ、元ユース hostel を改装し、新しい観光施設「ギャラリーミグラーダ」を町民有志の方々と作りました。ミグラーダはエスペラント語で「渡り」。渡り鳥の渡り、人や自然の架け橋になる場をイメージしました。

5月のゴールデンウィークは羅臼在住水中カメラマン・関勝則氏の個展、7月は岬先端部での昆布漁史を紐解く郷土写真展「知床岬の昆布漁」、8月は世界レベルの動物写真家・山本純一氏の個展「原始の大地-知床-」、そして流氷シーズンの12月～3月は「知床羅臼写真コンテスト受賞作品展」地元カメラマン10人展「羅臼の自然」展を企画、実施しました。地元カメラマン有志で「ミグラーダ・フォトクラブ」という写真サークルが結成され、部員に入れてもらったのが、本当に嬉しいことでした。私は今年で任期を終え、町外へ転出することに決めました。お世話になった皆様、気にしていただいていた皆様、本当にありがとうございます。これからも様々なところで、羅臼の魅力を伝えていきたいです。

4月からのミグラーダ展示は私の一押し作家  
伊藤健次さんの道東初個展!羅臼のシャチ  
づくしです。→

